

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	河川・海岸名	市町村名	字名	事業概要	事業費(千円)
河川改良	(二)稲生沢川	下田市	高馬	護岸工	20,000
河川改良	(二)岩科川	松崎町	道部	護岸工	15,000
河川改良	(二)烏川	伊東市	宇佐美	護岸工	20,000
河川改良	(一)沼津大沢川	沼津市	石川	護床工	15,000
河川改良	(一)沼川	沼津市	原	土留壁工	10,000
河川改良	(一)黄瀬川	沼津市	大岡	護岸工	20,000
河川改良	(一)大場川	三島市	萩	護岸工	20,000
河川改良	(一)大場川	三島市	佐野	河床掘削工	15,000
河川改良	(二)馬伏川	小山町	竹之下	護岸工	10,000
河川改良	(一)入田川	裾野市	茶畑	護岸工	20,000
河川改良	(二)巴川(麻機遊水地)	静岡市葵区	野丈	天端舗装工	80,000
河川改良	(二)巴川	静岡市葵区	北	河床掘削工	10,000
河川改良	(二)長尾川	静岡市葵区	平山	河床掘削工	20,000
河川改良	(一)丸子川	静岡市駿河区	広野	河床掘削工	20,000
河川改良	(二)塩田川	静岡市清水区	押切	河床掘削工	10,000
河川改良	(二)庵原川	静岡市清水区	横砂西町	河床掘削工	10,000
河川改良	(二)由比川	静岡市清水区	由比東山寺	河床掘削工	10,000
河川改良	(一)家山川	島田市	川根町家山	河床掘削工	15,000
河川改良	(二)東光寺谷川	島田市	阿知ヶ谷	河床掘削工	10,000
河川改良	(二)野田沢川	藤枝市	岡部町殿	河床掘削工	20,000
河川改良	(二)須々木川	牧之原市	須々木	護岸工	20,000
河川改良	(二)菅ヶ谷川	牧之原市	菅ヶ谷	護岸工	60,000
河川改良	(一)大井川	川根本町	下長尾	護岸工	20,000
河川改良	(二)太田川	磐田市	東小島	築堤工	20,000
河川改良	(二)安久路川	磐田市	鳥之瀬	築堤工	20,000
河川改良	(二)今ノ浦川	磐田市	見付	築堤工	10,000
河川改良	(二)逆川	掛川市	日坂	河床掘削工	10,000
河川改良	(一)西方川	菊川市	西方	護床工	20,000
河川改良	(一)小出川	菊川市	加茂	河床掘削工	20,000
河川改良	(二)太田川	森町	亀久保	法面保護工	10,000
河川改良	(一)安間川	浜松市東区	市野町	伐木工	10,000
河川改良	(二)馬込川	浜松市中区	木戸町	伐木工	20,000
河川改良	(二)井伊谷川	浜松市北区	引佐町伊平	河床掘削工	20,000
河川改良	(二)西神田川	浜松市北区	三ヶ日町上尾奈	河床掘削工	10,000
河川改良	(二)日比沢川	浜松市北区	三ヶ日町日比沢	河床掘削工	25,000

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	河川・海岸名	市町村名	字名	事業概要	事業費(千円)
河川改良	(一)阿多古川	浜松市天竜区	熊	護岸工	20,000
河川改良	(一)阿蔵川	浜松市天竜区	山東	河床掘削工	15,000
河川改良	(二)入出太田川	湖西市	太田	河床掘削工	15,000
河川改良	(一)沼津大沢川	沼津市	平沼	築堤工	90,000
河川改良	(一)佐野川	裾野市	千福	護岸工	185,000
河川改良	(一)西川	御殿場市	神場	護床工	10,000
河川改良	(一)黄瀬川	長泉町	下土狩	護岸工	195,000
河川改良	(二)巴川(麻機遊水地)	静岡市葵区	南	回廊工	70,000
河川改良	(二)由比川	静岡市清水区	由比入山	護岸工	20,000
河川改良	(二)小石川	焼津市	小土	流域貯留施設	10,000
河川改良	(二)勝間田川	牧之原市	切山	護岸工	10,000
河川改良	(二)坂口谷川	牧之原市	細江	環境保全対策工	50,000
河川改良	(一)大井川	川根本町	徳山	遠隔監視設備	30,000
河川改良	(一)一雲濟川	磐田市	上神僧	橋梁予備設計	30,000
河川改良	(一)佐束川	掛川市	岩滑	治水対策検討	20,000
河川改良	(一)安間川	浜松市東区	笠井新田町	治水対策検討	10,000
河川改良	(二)都田川	浜松市北区	細江町	根固工	10,000

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	河川・海岸名	市町村名	字名	事業概要	事業費(千円)
緊急自然災害防止対策	(二)須郷川	下田市	須原	護岸工	25,000
緊急自然災害防止対策	(二)大賀茂川	下田市	大賀茂	護岸工	110,000
緊急自然災害防止対策	(二)一条川	南伊豆町	一條	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(二)仁科川	西伊豆町	一色	護岸工	10,000
緊急自然災害防止対策	(二)逢初川	熱海市	伊豆山	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(二)初川	熱海市	水口	護床工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)烏川	伊東市	宇佐美	護岸嵩上工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)高橋川	沼津市	柳沢	護床工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)沢地川	三島市	沢地	護岸工	80,000
緊急自然災害防止対策	(一)久保川	御殿場市	神山	護岸工	70,000
緊急自然災害防止対策	(一)西川	御殿場市	神場	護床工	10,000
緊急自然災害防止対策	(一)黄瀬川	御殿場市	神山	護岸工	100,000
緊急自然災害防止対策	(二)小山川	御殿場市	茱萸沢	護床工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)泉川	裾野市	公文名	護岸工	100,000
緊急自然災害防止対策	(一)黄瀬川	裾野市	佐野	護岸工	60,000
緊急自然災害防止対策	(一)佐野川	裾野市	下和田	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)桃沢川	長泉町	元長窪	護床工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)鮎沢川	小山町	生土	護床工	90,000
緊急自然災害防止対策	(一)小潤井川	富士市	錦町	斜路工	15,000
緊急自然災害防止対策	(一)赤渚川	富士市	鵜無ヶ渚	護岸工	35,000
緊急自然災害防止対策	(一)滝川	富士市	神戸	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(一)血流川	富士市	北松野	護床工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)小瀬戸谷川	静岡市葵区	小瀬戸	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)新聞谷川	静岡市葵区	新聞	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)水見色川	静岡市葵区	水見色	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)藁科川	静岡市葵区	小島	護岸工	75,000
緊急自然災害防止対策	(一)西河内川	静岡市葵区	横沢	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(二)巴川	静岡市葵区	古庄	護岸工	200,000
緊急自然災害防止対策	(二)興津川	静岡市清水区	大平	護岸工	90,000
緊急自然災害防止対策	(二)山切川	静岡市清水区	杉山	護岸工	55,000
緊急自然災害防止対策	(二)湯沢川	静岡市清水区	中河内	護岸工	55,000
緊急自然災害防止対策	(二)由比川	静岡市清水区	由比東山寺	護岸工	60,000
緊急自然災害防止対策	(一)菊川	島田市	菊川	護岸工	40,000
緊急自然災害防止対策	(二)東光寺谷川	島田市	阿知ヶ谷	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)家山川	島田市	川根町家山	護床工	100,000

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	河川・海岸名	市町村名	字名	事業概要	事業費(千円)
緊急自然災害防止対策	(二)瀬戸川	焼津市	保福島	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(二)瀬戸川	藤枝市	寺島	護岸工	140,000
緊急自然災害防止対策	(二)勝間田川	牧之原市	切山	堤防嵩上工	60,000
緊急自然災害防止対策	(二)萩間川	牧之原市	東萩間	護岸工	40,000
緊急自然災害防止対策	(一)大井川	川根本町	上長尾	排水機場耐水化	60,000
緊急自然災害防止対策	(二)太田川	磐田市	向笠竹之内	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(二)倉西川	磐田市	東貝塚	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)古川	磐田市	大立野	築堤工	60,000
緊急自然災害防止対策	(二)祝川	磐田市	一言	護床工	40,000
緊急自然災害防止対策	(二)原野谷川	掛川市	各和	護岸工	40,000
緊急自然災害防止対策	(一)上小笠川	掛川市	上内田	護岸工	100,000
緊急自然災害防止対策	(二)逆川	掛川市	伊達方	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)太田川	袋井市	深見	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)沖之川	袋井市	永楽町	護岸工	60,000
緊急自然災害防止対策	(一)江川	菊川市	赤土	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(二)一宮川	森町	一宮	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(一)安間川	浜松市東区	大島町	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)安間川(安間川遊水地)	浜松市東区	上石田町	排水設備工	30,000
緊急自然災害防止対策	(二)伊佐地川	浜松市西区	佐浜町	護岸工	60,000
緊急自然災害防止対策	(二)東神田川	浜松市西区	西山町	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)旧新川	浜松市西区	入野町	護岸工	100,000
緊急自然災害防止対策	(二)釣橋川	浜松市北区	三ヶ日町只木	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(二)川名宮川	浜松市北区	三ヶ日町只木	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)都筑大谷川	浜松市北区	三ヶ日町駒場	護岸工	20,000
緊急自然災害防止対策	(二)日比沢川	浜松市北区	三ヶ日町本坂	護岸工	30,000
緊急自然災害防止対策	(一)杉川	浜松市天竜区	春野町川上	護岸工	60,000
緊急自然災害防止対策	(一)相川	浜松市天竜区	佐久間町浦川	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(一)気田川	浜松市天竜区	春野町宮川	護岸工	100,000
緊急自然災害防止対策	(一)翁川	浜松市天竜区	水窪町奥領家	護岸工	50,000
緊急自然災害防止対策	(二)梅田川	湖西市	梅田	護岸工	20,000

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	河川・海岸名	市町村名	字名	事業概要	事業費(千円)
豪雨等災害対策緊急	(二)稲生沢川	下田市	北湯ヶ野	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(一)御殿川	三島市	南二日町	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(一)境川	清水町	玉川	護岸工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(二)鮎沢川	小山町	生土	護岸工	40,000
豪雨等災害対策緊急	(一)有無瀬川	富士市	北松野	根固工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(一)芝川	富士宮市	大久保	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(一)相賀谷川	島田市	相賀	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)泉川	焼津市	相川	護岸工	15,000
豪雨等災害対策緊急	(二)葉梨川	藤枝市	北方	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)朝比奈川	藤枝市	宮島	護床工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(二)安久路川	磐田市	岩井	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)ぼう僧川	磐田市	中田	護岸工	40,000
豪雨等災害対策緊急	(二)原野谷川	袋井市	国本	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)新野川	御前崎市	池新田	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)馬込川	浜松市南区	江之島町	護岸工	60,000
豪雨等災害対策緊急	(二)花川	浜松市西区	和地町	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(一)阿多古川	浜松市天竜区	渡ヶ島	落差工	60,000
豪雨等災害対策緊急	(二)青野川	南伊豆町	下小野	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)糸川	熱海市	西山町	堤防補強工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(一)高橋川	沼津市	柳沢	堤防補強工	70,000
豪雨等災害対策緊急	(一)黄瀬川	御殿場市	竈	護岸工	60,000
豪雨等災害対策緊急	(一)潤井川	富士市	天間	堤防補強工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(一)和田川	富士市	浅間上町	護岸工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(二)長尾川	静岡市葵区	瀬名	護岸嵩上工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(一)飯間谷川	静岡市葵区	飯間	護床工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)継川	静岡市葵区	瀬名三丁目	護岸工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(二)巴川	静岡市清水区	千歳町	護岸工	10,000
豪雨等災害対策緊急	(二)小河内川	静岡市清水区	小河内	護岸工	15,000
豪雨等災害対策緊急	(一)尾川	島田市	尾川	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)勝間田川	牧之原市	中	護岸工	40,000
豪雨等災害対策緊急	(一)川根長尾川	川根本町	上長尾	護岸工	40,000
豪雨等災害対策緊急	(二)逆川	掛川市	高御所	護岸工	40,000
豪雨等災害対策緊急	(二)原野谷川	掛川市	原里	護岸工	20,000
豪雨等災害対策緊急	(二)小藪川	森町	谷中	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)芳川	浜松市南区	頭陀寺町	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)堀留川	浜松市西区	入野町	護岸工	30,000
豪雨等災害対策緊急	(二)馬込川	浜松市浜北区	小松	護岸工	30,000









河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川稲生沢川
- 地先名 : 下田市高馬地先
- 全体計画延長 : L=28m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1 / 5 0 確率 (690m<sup>3</sup>/s ⇒ 690m<sup>3</sup>/s)  
(50年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河床洗堀により部分崩壊した護岸の復旧
(方法) 護岸前面に根継工を施工し、河床洗堀による護岸崩壊を防ぐ

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A	A	
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A			
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床上浸水有り				AA		
他事業関連		水系に浸水被害有り	A			
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川岩科川
- 地先名 : 賀茂郡松崎町道部地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/5 確率 (240 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河床洗堀により部分崩壊した護岸の復旧
(方法) 護岸前面にかごマット工を施工し、河床洗堀による護岸崩壊を防ぐ

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川烏川
- 地先名 : 伊東市宇佐美地先
- 全体計画延長 : L=546m
- 実施内容 : 護岸嵩上工、防護柵工
- 改修規模 : 1/5 確率 (100 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 不足している護岸余裕高の確保
(方法) 護岸嵩上工及び転落防止柵工の撤去設置

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熱度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	A
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川沼津大沢川
- 地先名 : 沼津市石川地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護床工 (底張コンクリート)
- 改修規模 : 1/10確率 (60 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修 (整備) 目的と方法

(目的) 河床洗堀による石積の崩壊防止
(方法) 河床洗堀防止のための護床工 (底張コンクリート) を施工

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			床上浸水有り	AAA	AAA	
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェ外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川沼川
- 地先名 : 沼津市原地先
- 全体計画延長 : L=250m
- 実施内容 : 土留壁工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 調整池土羽法面の侵食対策
(方法) 土羽法面の法尻に土留壁を設置

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川黄瀬川
- 地先名 : 沼津市大岡地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸嵩上工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 洪水時の越水防止対策
(方法) 護岸嵩上工及び河道内の流水阻害となっている岩の撤去を実施

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	
	協働		協働による計画策定	A	
	用地取得見込み		容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	
	地元熱意		改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
			他事業調整中	C	
	事業時期		計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川大場川
- 地先名 : 三島市萩地先
- 全体計画延長 : L=30m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 背後地の侵食防止
(方法) 洪水による河岸侵食を防ぐため、護岸工を実施

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上		A
			床上浸水有り	AAA		
			床下浸水有り	AA		
他事業関連		水系に浸水被害有り	A			
効果・効率性	事業の効率性	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
		事業進度	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川大場川
- 地先名 : 三島市佐野地先
- 全体計画延長 : L=30m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上		A
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
他事業関連	床上浸水有り		AA			
	水系に浸水被害有り		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		継続完了	AA			
実現妥当性	事業の熟度	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
		コスト縮減策				
		河川整備計画	有	A		
			協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A				
事業時期	他事業調整中	C				
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川馬伏川
- 地先名 : 駿東郡小山町竹之下地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/30確率  
(30年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 洪水時の越流防止
(方法) 洪水時の越水防止対策として、護岸嵩上工を実施

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	
事業時期			他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川入田川
- 地先名 : 裾野市茶畑地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸嵩上工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 洪水時の越流防止
(方法) 洪水時の越水防止対策として、護岸嵩上工を実施

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川巴川（麻機遊水地）
- 地先名 : 静岡市葵区野丈地先
- 全体計画延長 : L=2,600m
- 実施内容 : 天端舗装工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 80,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 堤防の粘り強い構造化。除草コストの削減。適切な維持管理。

(方法) 遊水地堤防天端にアスファルト舗装を施工する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川巴川
- 地先名 : 静岡市葵区北地先
- 全体計画延長 : L=1,200m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/10確率 (460 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川長尾川
- 地先名 : 静岡市葵区平山地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/10確率 (60 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A	
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
床下浸水有り				AA		
水系に浸水被害有り	A					
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		継続完了	AA			
実現妥当性	事業の熟度	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
		河川整備計画	有	A	A	
			協働	協働による計画策定	A	
			用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難		C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
事業時期	他事業調整中	C				
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川丸子川
- 地先名 : 静岡市駿河区広野一丁目地先
- 全体計画延長 : L=400m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/30確率 (247 m<sup>3</sup>/s)  
(30年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	AA
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
			水系に浸水被害有り	A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熟意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川塩田川
- 地先名 : 静岡市清水区押切地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
				床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A		
プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A					
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川庵原川
- 地先名 : 静岡市清水区横砂西町地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/10確率 (310 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
地元熟意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中 大規模事業	C C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川由比川
- 地先名 : 静岡市清水区由比東山寺地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
		事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
	床下浸水有り			AA	
	水系に浸水被害有り			A	
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川家山川
- 地先名 : 島田市川根町家山地先
- 全体計画延長 : L=400m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/5確率 (3,000 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床上浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川東光寺谷川
- 地先名 : 島田市阿知ヶ谷地先
- 全体計画延長 : L=900m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : 1/5確率 (70 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修(整備)目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
		災害弱者施設	5割以上が宅地(掘込)	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川野田沢川
- 地先名 : 藤枝市岡部町殿地先
- 全体計画延長 : L=600m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA		
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川須々木川
- 地先名 : 牧之原市須々木地先
- 全体計画延長 : L=40m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 老朽化した護岸の改修</p> <p>(方法) ブロック積工により、護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A	A	
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A		
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA		
床上浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA				
		A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		改修費の妥当性	継続完了	AA		
			改修方法(工法)			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
			協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
			計画見直し中	C		
大規模事業	C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川菅ヶ谷川
- 地先名 : 牧之原市菅ヶ谷地先
- 全体計画延長 : L=40m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 老朽化した石積護岸の改修</p> <p>(方法) ブロック積工により、護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA A		
	事業進度		継続 継続完了	A AA	
効果・効率性	事業の効率性	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川大井川
- 地先名 : 榛原郡川根本町下長尾地先
- 全体計画延長 : L=20m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 警戒水位未満の出水で崩壊した護岸の復旧</p> <p>(方法) 崩壊した護岸を石張工により復旧する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床上浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA	A		
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川太田川
- 地先名 : 磐田市東小島地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 災害復旧の採択要件に満たない条件で被災した堤防裏法の復旧  
 (方法) 崩壊した築堤箇所に腹付盛土を実施する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川安久路川
- 地先名 : 磐田市鳥之瀬地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 堤体内の浸透水を安全に排水させる</p> <p>(方法) 堤体法尻にドレーン工を施工する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川今之浦川
- 地先名 : 磐田市見附地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : 1/20確率 (180 m<sup>3</sup>/s)  
(20年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 洪水により洗堀された土羽部の復旧
(方法) 堤体法表部に築堤盛土を実施する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中	C C	
			大規模事業	C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川逆川
- 地先名 : 掛川市日坂地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 河道掘削工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
地元熟意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川西方川
- 地先名 : 菊川市西方地先
- 全体計画延長 : L=150m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : 1/5確率 (45 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の曲線部、水衝部における河床洗堀対策
(方法) 河床低下を防ぐため、護床工を施工する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床上浸水有り				AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川小出川
- 地先名 : 菊川市加茂地先
- 全体計画延長 : L=600m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : 1/30確率 (50 m<sup>3</sup>/s)  
(30年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設 今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		AA		
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川太田川（太田川ダム）
- 地先名 : 周智郡森町亀久保地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 法面保護工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>（目的）貯水池の法面崩壊対策</p> <p>（方法）貯水池法面の崩壊防止対策として、法面に植生マット工を施工する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床上浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	A	
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川安間川
- 地先名 : 浜松市東区市野町地先
- 全体計画延長 : L=350m
- 実施内容 : 伐採工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 局所的な流下能力不足の解消</p> <p>(方法) 伐採によって河積阻害を解消し、流下能力の向上を図る。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)		A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川馬込川
- 地先名 : 浜松市中区木戸町地先
- 全体計画延長 : L=1,400m
- 実施内容 : 伐木・河床掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 局所的な流下能力不足の解消</p> <p>(方法) 伐採によって河積阻害を解消し、流下能力の向上によって、浸水被害を軽減させる。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A	A	
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A			
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA		
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA				
		A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C	A	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川井伊谷川
- 地先名 : 浜松市北区引佐町伊平地先
- 全体計画延長 : L=500m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A			
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A	
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川西神田川
- 地先名 : 浜松市北区三ヶ日町上尾奈地先
- 全体計画延長 : L=500m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : 1/30確率 (130 m<sup>3</sup>/s)  
(30年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
				床下浸水有り	AA
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川日比沢川
- 地先名 : 浜松市北区三ヶ日町日比沢地先
- 全体計画延長 : L=1,300m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : 1/30確率 (180 m<sup>3</sup>/s)  
(30年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 25,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
				床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A			
	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川阿多古川
- 地先名 : 浜松市天竜区熊地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/5確率 (118 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 破損した既設木柵護岸の改修
(方法) 既設木柵護岸を撤去後に、新たに木柵護岸工を設置する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上		A
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
床上浸水有り	床下浸水有り		AA			
	水系に浸水被害有り		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		継続完了	AA			
事業の緊急性	改修費の妥当性	改修方法(工法)				
		改修規模(段階施工)				
実現妥当性	事業の熟度	コスト縮減策				
		河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A		
事業時期	他事業調整中	C				
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川阿蔵川
- 地先名 : 浜松市天竜区山東地先
- 全体計画延長 : L=250m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : 1/5確率 (39 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川入出太田川
- 地先名 : 湖西市太田地先
- 全体計画延長 : L=500m
- 実施内容 : 河床掘削工
- 改修規模 : 1/5確率 (175 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 15,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

(目的) 流下阻害の解消
(方法) 河道内の堆積土砂の撤去

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	A
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川沼津大沢川
- 地先名 : 沼津市平沼地先
- 全体計画延長 : L=700m
- 実施内容 : 築堤・河道拡幅
- 改修規模 : 1/10確率 (60 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 90,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 越水被害の軽減
(方法) 河道拡幅によって河積を拡大させ、流下能力向上を図る。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA	A		
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川佐野川
- 地先名 : 裾野市千福地先
- 全体計画延長 : L=250m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 185,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 令和3年7月豪雨により、被災した区間の上流側の護岸改修</p> <p>(方法) ブロック積工により、護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上		A
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
床上浸水有り	床下浸水有り		AA			
	水系に浸水被害有り		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		継続完了	AA			
実現妥当性	事業の熟度	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
		河川整備計画	有	A		
			協働	協働による計画策定	A	
			用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		事業時期	困難	C		
			地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
			他事業調整中	C		
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川西川
- 地先名 : 御殿場市神場地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : 1/10確率 (55 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河床低下の防止
(方法) 護床ブロックを設置し、河床低下を防ぐ。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床上浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川黄瀬川
- 地先名 : 駿東郡長泉町下土狩地先
- 全体計画延長 : L=250m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 195,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の崩壊防止</p> <p>(方法) ブロック積により、護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川巴川（麻機遊水地）
- 地先名 : 静岡市葵区南地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 回廊修繕工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 自然環境団体の活動推進と遊水地の維持管理のため</p> <p>(方法) 既設回廊の修繕と未整備区間に回廊を設置する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
			水系に浸水被害有り	A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
			コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熟意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川由比川
- 地先名 : 静岡市清水区由比入山地内
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸工事に伴う物件補償</p> <p>(方法) 護岸工事の影響範囲にある倉庫の補償を行う。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川小石川
- 地先名 : 焼津市小土地先
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 流域貯留施設
- 改修規模 : 1/10確率 (115 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 流域貯留施設設置による流出抑制
(方法) 流域貯留施設の新規設置について検討する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り			
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A	
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA	
床下浸水有り			AA			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	水系に浸水被害有り	A			
		AA	AA			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		継続完了	AA			
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A	A	
			用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		地元熱意	困難	C		
		事業時期	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
			他事業調整中	C		
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川勝間田川
- 地先名 : 牧之原市切山地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 堤防嵩上げ工
- 改修規模 : 1/3確率 (140 m<sup>3</sup>/s)  
(3年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 出水時の越水防止
(方法) 令和4年9月の台風15号による豪雨で、越水のあった箇所で堤防嵩上げを実施する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			床上浸水有り	AAA	AA	
			床下浸水有り	AA		
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川坂口谷川
- 地先名 : 牧之原市細江地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 環境保全対策工
- 改修規模 : 1/10確率 (150 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 生物の生息環境を保全する。</p> <p>(方法) 有識者との協議を踏まえて、河道掘削時の環境保全対策を実施する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床上浸水有り				AA	AA
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	AA AA		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川大井川
- 地先名 : 榛原郡川根本町徳山地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 徳山樋門 遠隔監視設備概略検討
- 改修規模 : 1/5確率 (3,600 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 新設樋門の遠隔監視設備検討</p> <p>(方法) 樋門の操作規則の検討とともに、遠隔監視設備の概略検討を実施する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工)			
		コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川一雲済川
- 地先名 : 磐田市上神増地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 橋梁予備設計
- 改修規模 : 1/5確率 (148 m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川改修に伴う橋梁架替
(方法) 橋梁架替に必要となる予備設計及び地質調査を実施する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川佐東川
- 地先名 : 掛川市岩滑地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 治水対策検討業務
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川改修に伴う橋梁架替</p> <p>(方法) 橋梁架替に必要な予備設計及び地質調査を実施する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 一級河川安間川
- 地先名 : 浜松市東区笠井新田町地先
- 全体計画延長 : L=300m
- 実施内容 : 治水対策検討
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 水災害対策プランに基づく局所改修計画の検討
(方法) 万斛橋上流部の局部改修の検討

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A	
			下流が小	B	A	
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
床上浸水有り	水系に浸水被害有り		AA			
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		AA	A	AA	
A						
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		継続完了	AA			
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
		大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川改良事業
- 河川・海岸名 : 二級河川都田川
- 地先名 : 浜松市北区細江町中川地先
- 全体計画延長 : L=300m
- 実施内容 : 根固め工
- 改修規模 : 1/10確率 (71 m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 既設矢板護岸の崩壊防止</p> <p>(方法) 既設矢板護岸基礎部に根固め工を設置する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA		
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
			継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
		改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 須郷川
- 地先名 : 下田市須原地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 25,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸をブロック積工により改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床上浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
		他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 大賀茂川
- 地先名 : 下田市大賀茂地先
- 全体計画延長 : L=247.2m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/2 確率 (27.9m<sup>3</sup>/s ⇒ 30m<sup>3</sup>/s)  
(2年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 110,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護岸の改修による治水安全度向上
(方法) 出水により損傷した護岸をブロック積工により改修する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 一条川
- 地先名 : 賀茂郡南伊豆町一條地先
- 全体計画延長 : L=120m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度向上</p> <p>(方法) 浸食著しい天然河岸において、護岸を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	C	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床上浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A	A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA		
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 仁科川
- 地先名 : 賀茂郡西伊豆町一色地先
- 全体計画延長 : L=20m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
大規模事業	C				



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 逢初川
- 地先名 : 熱海市伊豆山地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 初川
- 地先名 : 熱海市水口町地先
- 全体計画延長 : L=10m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護床工による河床洗堀防止</p> <p>(方法) 出水により損傷した護床工を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 烏川
- 地先名 : 伊東市宇佐美地先
- 全体計画延長 : L=546m
- 実施内容 : 護岸嵩上げ工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸嵩上げによる越水防止</p> <p>(方法) 越水頻発箇所の護岸を嵩上げする。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA		
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
			継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	A
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業		C
	C				
	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 高橋川
- 地先名 : 沼津市柳沢地先
- 全体計画延長 : L=30m
- 実施内容 : 根固工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 根固工による護岸基礎部の洗堀防止</p> <p>(方法) 河床低下傾向にある区間に根固工を設置する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り 床下浸水有り 水系に浸水被害有り	AAA AA A	
			他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
効果・効率性		事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
	改修費の妥当性		改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
協働			協働による計画策定	A		
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
事業時期			他事業調整中	C		
	計画見直し中	C				
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 沢地川
- 地先名 : 三島市沢地地先
- 全体計画延長 : L=350m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 80,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護岸の改修による治水安全度向上  
 (方法) 出水により損傷した護岸を改修する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(堀込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画 協働 用地取得見込み 地元熱意	有 協働による計画策定 容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難 改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A A A C A	
実現妥当性	事業の熟度	事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 久保川
- 地先名 : 御殿場市神山地先
- 全体計画延長 : L=60m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
				床下浸水有り 水系に浸水被害有り		AA A
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA	A			
		A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C		C
				C		
C						

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 西川
- 地先名 : 御殿場市神場地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護床工による河床洗堀防止</p> <p>(方法) 出水により損傷した護床工を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
				5割以上が宅地(掘込)		A
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A			
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
床下浸水有り				AA		
他事業関連		水系に浸水被害有り	A			
		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		継続完了	AA			
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
		計画見直し中	C			
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 黄瀬川
- 地先名 : 御殿場市神山地先
- 全体計画延長 : L=70m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 100,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
	その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川 小山川
- 地先名 : 御殿場市茱萸沢地先
- 全体計画延長 : N=6箇所
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護床工による河床洗堀防止</p> <p>(方法) 出水により損傷した護床工を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
				床下浸水有り		AA
他事業関連		水系に浸水被害有り	A	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期		他事業調整中		C
				計画見直し中		C
大規模事業	C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 泉川
- 地先名 : 裾野市公文名地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 100,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
協働	協働による計画策定	A			
用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A			
	困難	C			
地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A		
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 黄瀬川
- 地先名 : 裾野市佐野地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川 佐野川
- 地先名 : 裾野市下和田地先
- 全体計画延長 : L=60m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	AA
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川桃沢川
- 地先名 : 長泉町元長窪地先
- 全体計画延長 : L=30.0m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護床工による河床洗堀防止</p> <p>(方法) 出水により損傷した護床工を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
				床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 継続 継続完了	AA	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
			コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	AA	
			困難	C		
		事業時期	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
			他事業調整中	計画見直し中	C	
				大規模事業	C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 二級河川鮎沢川
- 地先名 : 駿東郡小山町生土地先
- 全体計画延長 : N=1基
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 90,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 魚道工による環境機能向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した魚道工を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り				AA		
他事業関連		水系に浸水被害有り	A			
	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策			
	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	AA	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中	C		
			計画見直し中	C		
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川小潤井川
- 地先名 : 富士市錦町地先
- 全体計画延長 : N=1基
- 実施内容 : 斜路工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 15,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 掘削による治水安全度向上</p> <p>(方法) 堆積土砂撤去のための管理用斜路工を設置する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A	
			プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熱度	河川整備計画	有	A
協働	協働による計画策定		A		
用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)		A		
	困難		C		
地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済		A		
事業時期	他事業調整中		C		
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川赤湊川
- 地先名 : 富士市鵜無ヶ湊地先
- 全体計画延長 : L=80.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 35,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床上浸水有り	床上浸水有り		AA			
	水系に浸水被害有り		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		改修費の妥当性	継続完了	AA		
			改修方法(工法)			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	改修規模(段階施工)			
			コスト縮減策			
		協働	有	A		
			協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		事業時期	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
他事業調整中	計画見直し中		C			
	大規模事業		C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川滝川
- 地先名 : 富士市神戸地先
- 全体計画延長 : L=300.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川血流川
- 地先名 : 富士市北松野地先
- 全体計画延長 : N=2基
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護床工による河床洗堀防止
(方法) 出水により損傷した護床工を改修する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川小瀬戸谷川
- 地先名 : 静岡市葵区小瀬戸地先
- 全体計画延長 : L=50.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り 床下浸水有り 水系に浸水被害有り		AAA AA A
			他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		AA A
事業の効率性		事業進捗	継続 継続完了	A AA		
効果・効率性	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川新聞谷川
- 地先名 : 静岡市葵区新聞地先
- 全体計画延長 : L=80.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
				床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA				
		A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A	
事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C				
		C				
		C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川水見色川
- 地先名 : 静岡市葵区水見色地先
- 全体計画延長 : L=30.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川藁科川
- 地先名 : 静岡市葵区小島地先
- 全体計画延長 : L=100.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 75,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
	改修規模(段階施工)				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 一級河川西河内川
- 地先名 : 静岡市葵区横沢地先
- 全体計画延長 : L=80.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
				床下浸水有り		AA
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	A	
			その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
		改修費の妥当性	継続	A		
			継続完了	AA		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	改修方法(工法)		A	
			改修規模(段階施工)			
		用地取得見込み	コスト削減策			
			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
		地元熱意	困難	C		
			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
			計画見直し中	C		
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 二級河川巴川
- 地先名 : 静岡市葵区古庄地先
- 全体計画延長 : L=80.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 200,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 二級河川興津川
- 地先名 : 静岡市清水区大平地先
- 全体計画延長 : L=28.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 90,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 二級河川山切川
- 地先名 : 静岡市清水区杉山地先
- 全体計画延長 : L=20.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 55,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		他事業関連	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床上浸水有り	床下浸水有り		AA			
	水系に浸水被害有り		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A		
		継続完了	AA			
	改修費の妥当性	改修方法(工法)				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
			協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A	
			他事業調整中	C		
		事業時期	計画見直し中	C		
大規模事業	C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策
- 河川・海岸名 : 二級河川湯沢川
- 地先名 : 静岡市清水区中河内地先
- 全体計画延長 : L=20.0m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 55,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 出水により損傷した護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA		
			床下浸水有り	AA		
			水系に浸水被害有り	A		
他事業関連	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA			
		その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A	
		事業時期	事業時期	他事業調整中	C	
				計画見直し中 大規模事業	C C	

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川由比川
- 地先名 : 静岡市清水区由比東山寺地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）河川の治水安全度を向上する。

（方法）土羽護岸を被覆し、治水機能を向上させる。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設 今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川菊川
- 地先名 : 島田市菊川地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A	A	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	B		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A	
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
				床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A		
			プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A	A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熟意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川東光寺谷川
- 地先名 : 島田市阿知ヶ谷地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。

(方法) 護岸の改修をし、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川家山川
- 地先名 : 島田市川根町家山地先
- 全体計画延長 : L=220m
- 実施内容 : 魚道工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 100,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川環境を向上する。</p> <p>(方法) 魚道を設置する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェ外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		AA	A	
			A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
	コスト縮減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川瀬戸川
- 地先名 : 焼津市保福島地先
- 全体計画延長 : L=480m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 築堤をし、治水機能を向上させる。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
			水系に浸水被害有り	A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
			コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川瀬戸川
- 地先名 : 藤枝市寺島地先
- 全体計画延長 : L=140m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 140,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 護岸の改修をし、治水機能を向上させる。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	A
			水系に浸水被害有り	A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
			コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熟意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川勝間田川
- 地先名 : 牧之原市切山地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。

(方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
			水系に浸水被害有り	A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働	協働による計画策定		A		
用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)		A	A	
	困難		C		
地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済		A	A	
事業時期	他事業調整中		C		
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川萩間川
- 地先名 : 牧之原市東萩間地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。  
 (方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	AA	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
				床下浸水有り		AA
		他事業関連	フロンティア関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熟意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
		大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川大井川
- 地先名 : 榛原郡川根本町上長尾地先
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 排水機場耐水化
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。  
 (方法) 排水機場の耐水化を行い、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A			
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		A
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA		
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
	改修規模(段階施工)					
	コスト縮減策					
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川太田川
- 地先名 : 磐田市向笠竹之内地先
- 全体計画延長 : L=140m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。  
 (方法) 土羽護岸を被覆し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	AA	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
床下浸水有り				AA		
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA	A			
		A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		継続完了	AA			
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
		大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川倉西川
- 地先名 : 磐田市東貝塚地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 土羽護岸を被覆し、治水機能を向上させる。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
	改修規模(段階施工)				
	コスト削減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	A
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川古川
- 地先名 : 磐田市大立野地先
- 全体計画延長 : L=600m
- 実施内容 : 築堤工、用地補償
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。  
 (方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	AA
		浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
他事業関連	水系に浸水被害有り	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	A	A	
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A	A
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
改修規模(段階施工)					
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川祝川
- 地先名 : 磐田市一言地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 護岸の改修をし、治水機能を向上させる。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設 今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働	協働による計画策定		A		
用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)		A	A	
	困難		C		
地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済		A	A	
事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業		C C C		



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川原野谷川
- 地先名 : 掛川市各和地先
- 全体計画延長 : L=300m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。  
 (方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	AA
			床上浸水有り	AAA	
		浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AA	
			床下浸水有り	A	
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA			
	その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
		改修規模(段階施工)			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川上小笠川
- 地先名 : 掛川市上内田地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 100,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河川の治水安全度を向上する。</p> <p>(方法) 護岸の改修をし、治水機能を向上させる。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	A		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等			
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	A	A	
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有			
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
				床下浸水有り	AA	
			水系に浸水被害有り	A		
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続			
			継続完了			
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工)			
	コスト縮減策		A			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
			計画見直し中	C		
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川逆川
- 地先名 : 掛川市伊達方地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 築堤工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。

(方法) 堤防嵩上げを実施し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
				床下浸水有り	AA	
他事業関連		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川太田川
- 地先名 : 袋井市深見地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河川の治水安全度を向上する。
(方法) 土羽護岸を被覆し、治水機能を向上させる。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
		コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熱度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川沖之川
- 地先名 : 袋井市永楽町地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/10確率 (110m<sup>3</sup>/s ⇒ 120m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 沖之川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。  
(方法) 経年劣化した護岸工の積み替えを実施する。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
大規模事業		C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川江川
- 地先名 : 菊川市赤土地先
- 全体計画延長 : L=300m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 江川沿川の赤土地地区の浸水被害軽減。  
 (方法) 洗堀箇所に対して護岸工を実施する。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業		C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川一宮川
- 地先名 : 周智郡森町一宮地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 一宮川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。</p> <p>(方法) 洗堀箇所に護岸工を実施する。</p>
--

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
改修規模(段階施工)				
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
大規模事業		C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川安間川
- 地先名 : 浜松市東区大島町地先
- 全体計画延長 : L=45m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/10確率 (50m<sup>3</sup>/s ⇒ 75m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修(整備)目的と方法

(目的) 安間川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。  
 (方法) 洗堀を受け崩壊している土羽に護岸工を実施する。

○評価				
評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A		
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(堀込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
		床上浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	A	
	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	AA
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
大規模事業		C		



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川安間川 (安間川遊水地)
- 地先名 : 浜松市東区上石田町地先
- 全体計画延長 : N=1 式
- 実施内容 : 排水設備工 N=1 式
- 改修規模 : 1/10確率 (80m<sup>3</sup>/s ⇒ 85m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修 (整備) 目的と方法

(目的) 安間川の出水対し災害の拡大を防止する。  
(方法) 遊水地の排水機能を向上させるためポンプを設置する。

○評価				
評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	AA
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中	C		
	計画見直し中	C		
	大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川伊佐地川
- 地先名 : 浜松市西区佐浜町地先
- 全体計画延長 : L=480m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 伊佐地川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。</p> <p>(方法) 経年劣化した護岸工の積み替えを実施する。</p>
---

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	AA	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	A	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熱度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
大規模事業		C		

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川東神田川
- 地先名 : 浜松市西区西山地先
- 全体計画延長 : L=30m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）東神田川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。

（方法）経年劣化した護岸工の積み替えを実施する。

## ○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	AA
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
	大規模事業	C		

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川旧新川
- 地先名 : 浜松市西区入野町地先
- 全体計画延長 : L=130m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 100,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）旧新川沿川の出水対し災害の拡大を防止する。

（方法）変状した護岸工の補強を行う。

## ○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	A
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
	大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川釣橋川
- 地先名 : 浜松市北区三ケ日町只木地先
- 全体計画延長 : L=90m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 釣橋川の出水対し災害の拡大を防止する。
(方法) 洗堀箇所に護岸工を実施する。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	AA
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業		C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川川名宮川
- 地先名 : 浜松市北区三ケ日町只木地先
- 全体計画延長 : L=70m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 川名宮川の出水対し災害の拡大を防止する。
(方法) 崩壊した土羽に護岸工を実施する。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価	
	細目	区分			
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
		下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
		5割以上が宅地(掘込)	A		
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA		
		床下浸水有り	AA		
		水系に浸水被害有り	A		
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		A			
事業の効率性	事業進捗	継続	A	A	
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法)			
改修規模(段階施工)					
コスト縮減策					
事業の熟度	河川整備計画	有	A		
	協働	協働による計画策定	A		
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
		困難	C		
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A		A
	事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中		C			
大規模事業		C			

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川都筑大谷川
- 地先名 : 浜松市北区三ヶ日町駒場地先
- 全体計画延長 : L=150m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）都筑大谷川の出水対し災害の拡大を防止する。

（方法）築堤工、護岸工による堤防補強を実施する。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA	A		
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C	C		
		C			
		C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 二級河川日比沢川
- 地先名 : 浜松市北区三ケ日町本坂地先
- 全体計画延長 : L=120m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 日比沢川の出水対し災害の拡大を防止する。
(方法) 土堤区間の護岸工を実施する。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工)		
		コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	A
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
	大規模事業	C		



## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川杉川
- 地先名 : 浜松市天竜区春野町川上地先
- 全体計画延長 : L=60m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 60,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）杉川の出水対し災害の拡大を防止する。

（方法）川幅を広げ、河積を確保する。

## ○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(堀込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	
その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)		A		
事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		継続完了	AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中		C		
	大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川相川
- 地先名 : 浜松市天竜区佐久間町浦川地先
- 全体計画延長 : L=110m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 相川の出水対し災害の拡大を防止する。</p> <p>(方法) 経年劣化した護岸の整備を行う。</p>
--

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業		C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川気田川
- 地先名 : 浜松市天竜区春野町宮川地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 100,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 気田川の出水対し災害の拡大を防止する。
(方法) 経年劣化した護岸の整備を行う。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(堀込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工) コスト縮減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業		C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川翁川
- 地先名 : 浜松市天竜区水窪町奥領家地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 翁川の出水対し災害の拡大を防止する。
(方法) 損傷した護岸の整備を行う。

○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	A
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(堀込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	A
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工) コスト削減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の中で合意形成済	A	
事業時期	他事業調整中	C		
	計画見直し中 大規模事業	C C		

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害防止対策事業
- 河川・海岸名 : 一級河川梅田川
- 地先名 : 湖西市梅田地先
- 全体計画延長 : L=45m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
- 全体事業費 : 20,000千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）梅田川の出水対し災害の拡大を防止する。

（方法）変状した護岸の整備を行う。

## ○評価

評価項目	評価指標		評価基準	評価
	細目	区分		
事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
	上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
		下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
		床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A	
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
	改修費の妥当性	改修方法(工法)		
		改修規模(段階施工) コスト縮減策		
事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
	協働	協働による計画策定	A	
	用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		困難	C	
	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
	事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業		C C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川稲生沢川
- 地先名 : 下田市北湯ヶ野地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸工の施工により、治水安全度の向上を図る。</p> <p>(方法) 護岸未整備区間に、ブロック積護岸を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川御殿川
- 地先名 : 三島市南二日町地先
- 全体計画延長 : L=150m
- 実施内容 : 護岸補修工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護岸修繕により、治水安全度の向上を図る。

(方法) 経年劣化により弱体化した護岸を補修する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床下浸水有り			AA		
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熱度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川境川
- 地先名 : 駿東郡清水町玉川地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 30,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 水衝部の侵食防止</p> <p>(方法) 土羽護岸区間をブロック積工にて整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川鮎沢川
- 地先名 : 駿東郡小山町生土地先
- 全体計画延長 : L=160m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸の強化による治水安全度向上</p> <p>(方法) 河床低下により弱体化した既設低水護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A		
		事業進捗	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
実現妥当性	事業の熟度	改修方法(工法)			
		用地取得見込み	改修規模(段階施工)		
		河川整備計画	コスト削減策		
		協働	有	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
		地元熱意	困難	C	
実現妥当性	事業の熟度	地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
		事業時期	計画見直し中	C	
		事業時期	大規模事業	C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川有無瀬川
- 地先名 : 富士市北松野地先
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 根固工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河床低下の防止</p> <p>(方法) ブロック積護岸の基礎部に根固ブロックを設置する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床上浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
		他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川芝川
- 地先名 : 富士宮市大久保地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度向上</p> <p>(方法) 土羽護岸区間にブロックによる護岸を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)		AA
			5割以上が宅地(堀込)	A		
	事業の緊急性	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		
			今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上		A
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り		AAA
床上浸水有り	AA					
他事業関連	他事業関連	水系に浸水被害有り	A			
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA			
		その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A	
		継続完了	AA			
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
改修規模(段階施工)						
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
			計画見直し中	C		
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川相賀谷川
- 地先名 : 島田市相賀地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) ブロック積工による護岸整備</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川泉川
- 地先名 : 焼津市相川地先
- 全体計画延長 : L=150m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 25,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) 護岸基礎工及び法枠護岸による護岸を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川葉梨川
- 地先名 : 藤枝市北方地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度向上</p> <p>(方法) ブロック張工による護岸を整備する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
		水防計画書	位置付け有り	A	
	事業の重要性	氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	A
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
		事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	
	床下浸水有り			AA	
	水系に浸水被害有り			A	
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川朝比奈川
- 地先名 : 藤枝市岡部町宮島地先
- 全体計画延長 : L=10m
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河床の洗堀防止
(方法) コンクリートブロックによる護床工を整備する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
				5割以上が宅地(掘込)	A	
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A			
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
床上浸水有り				AA		
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
			A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
			継続完了	AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
		用地取得見込み	困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
	大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川安久路川
- 地先名 : 磐田市岩井地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸をブロック積護岸に改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A	
		継続完了	AA		
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川ぼう僧川
- 地先名 : 磐田市中田地先
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/5 確率 (24m<sup>3</sup>/s ⇒ 38m<sup>3</sup>/s)  
(5年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 80,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 河積拡大による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 護岸工と護床工の整理により、河床を下げて流下能力を向上させる。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り 床下浸水有り	AAA AA
		他事業関連	水系に浸水被害有り	A	
			プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
	改修規模(段階施工)				
	コスト縮減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川原野谷川
- 地先名 : 袋井市国本地先
- 全体計画延長 : L=120m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 水衝部で侵食著しい箇所に護岸を整備する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り 床下浸水有り	AAA AA
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川新野川
- 地先名 : 御前崎市池新田地先
- 全体計画延長 : L=800m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 河床低下により護岸基礎が損傷している箇所の護岸を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
他事業関連		床上浸水有り	AA		
		水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA		
		その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
	事業の進捗	継続	A		
実現妥当性	事業の熟度	事業の進捗	継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
	計画見直し中	C			
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川馬込川
- 地先名 : 浜松市南区江之島地内
- 全体計画延長 : L=100m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 損傷した既設護岸を矢板護岸にて整備する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
		災害弱者施設	5割以上が宅地(掘込)	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A AA A	A
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川花川
- 地先名 : 浜松市西区和地町地先
- 全体計画延長 : L=120m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸整備による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 河床低下により損傷した既設護岸を改修する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床上浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川阿多古川
- 地先名 : 浜松市天竜区渡ヶ島地先
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 落差工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 130,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 落差工の改修により、流速低減効果を確保する。</p> <p>(方法) 経年劣化した落差工を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA			
	その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川青野川
- 地先名 : 賀茂郡南伊豆町下小野地先
- 全体計画延長 : L=178.3m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -

○ 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸をブロック積護岸に改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A		
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA	A		
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川糸川
- 地先名 : 熱海市西山町地先
- 全体計画延長 : L=40m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸と侵食著しい天然河岸をブロック積工で整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A
			床上浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
		他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	C
計画見直し中 大規模事業	C C				



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川高橋川
- 地先名 : 沼津市柳沢地先
- 全体計画延長 : L=400m
- 実施内容 : 堤防補強工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 130,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 堤防補強による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 断面が不足している堤体を補強する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	A
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	AA
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床上浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
		他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	AA
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川黄瀬川
- 地先名 : 御殿場市竈地先
- 全体計画延長 : L=120m
- 実施内容 : 護岸工、護岸嵩上げ工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 110,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸嵩上げによる越水防止</p> <p>(方法) 越水防止のため、護岸工及び護岸嵩上げ工を整備する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	A
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	AA
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	AAA
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A	AA
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工)		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川潤井川
- 地先名 : 富士市天間地先
- 全体計画延長 : L=20m
- 実施内容 : 堤防補強工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 堤防補強による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 断面が不足している堤体を補強する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
事業時期	他事業調整中	C			
	計画見直し中	C			
		大規模事業	C		

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川和田川
- 地先名 : 富士市浅間上町地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸をブロック積護岸に改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤) 5割以上が宅地(掘込)	AA A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
		水系に浸水被害有り	A		
他事業関連	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	A	
		その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
			改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川長尾川
- 地先名 : 静岡市葵区瀬名地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸嵩上げ工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸嵩上げによる越水防止</p> <p>(方法) 越水防止のため、護岸嵩上げを行う。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA	
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り		A				
他事業関連	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併	AA	A			
	その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A		
		継続完了	AA			
	改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
		大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川飯間谷川
- 地先名 : 静岡市葵区飯間地先
- 全体計画延長 : -
- 実施内容 : 護床工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 河床の洗堀防止
(方法) 河床洗堀箇所に巨石による護床工を整備する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A	AA	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
実現妥当性	事業の熟度	協働	協働による計画策定	A	A
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	C
			計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川継川
- 地先名 : 静岡市葵区瀬名川地先
- 全体計画延長 : L=30m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 10,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等間で合意形成済	A	
		他事業調整中		C	
		事業時期	計画見直し中 大規模事業	C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川巴川
- 地先名 : 静岡市清水区千歳町地先
- 全体計画延長 : L=220m
- 実施内容 : 護岸嵩上げ工
- 改修規模 : 1/10確率 (60m<sup>3</sup>/s ⇒ 60m<sup>3</sup>/s)  
(10年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護岸嵩上げによる越水防止
(方法) 越水防止のため、護岸嵩上げを行う。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	事業の重要性	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
		水防計画書	位置付け有り	A		
			氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	A
			5割以上が宅地(掘込)	A		
	災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A			
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	A		
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AAA	
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	プロジェクト関連	AA			
		その他	A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA		
		改修費の妥当性	改修方法(工法)			
			改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A		
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A	
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A	
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川小河内川
- 地先名 : 静岡市清水区小河内地先
- 全体計画延長 : L=15m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 35,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
	プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中	C	
	計画見直し中 大規模事業	C C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川尾川
- 地先名 : 島田市尾川地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 40,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 侵食著しい天然河岸に護岸工を整備する。</p>
---

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床上浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り			A		
他事業関連		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
	実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A
協働			協働による計画策定	A	
用地取得見込み			容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	A
地元熱意			改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
事業時期			他事業調整中 計画見直し中 大規模事業	C C C	

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川勝間田川
- 地先名 : 牧之原市中地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
浸水実績(過去10年)			床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA			
		A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続	A	A
			継続完了	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 一級河川川根長尾川
- 地先名 : 榛原郡川根本町上長尾地先
- 全体計画延長 : L=90m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 70,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A		
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A		
			下流が小	B		
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(掘込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A		A
	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A			
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	A	
床下浸水有り			AA			
水系に浸水被害有り			A			
他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等)(5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		A
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中	C					
		大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川逆川
- 地先名 : 掛川市高御所地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 80,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り 床下浸水有り	AAA AA
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A				
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続 継続完了	A AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法)		
	改修規模(段階施工) コスト縮減策				
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川原野谷川
- 地先名 : 掛川市原里地先
- 全体計画延長 : L=50m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 20,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミノリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	AA
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(堀込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	AA
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	
床下浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進度	継続	A	
		改修費の妥当性	継続完了	AA	
			改修方法(工法)		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	改修規模(段階施工)		A
			コスト縮減策		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中	C	
大規模事業	C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川小藪川
- 地先名 : 周智郡森町谷中地先
- 全体計画延長 : L=600m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : 1/50確率 (28m<sup>3</sup>/s ⇒ 80m<sup>3</sup>/s)  
(50年に1度発生が予想される規模の降雨に対応)
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

(目的) 護岸改修による治水安全度の向上
(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価	
		細目	区分			
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B		
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A		
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA		
			5割以上が宅地(堀込)	A		
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A	
	事業の緊急性	今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A		
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
				床下浸水有り 水系に浸水被害有り	AA A	
他事業関連		プロジェクト外関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A			
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	AA	
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策			
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A	
		協働	協働による計画策定	A		
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A		
			困難	C		
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A		
		事業時期	他事業調整中	C		
計画見直し中 大規模事業	C C					

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川芳川
- 地先名 : 浜松市南区頭陀寺町地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
		災害弱者施設	5割以上が宅地(掘込)	A	A
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有 開発面積 5ha以上	A	A
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	
			床下浸水有り	AA	
		他事業関連	水系に浸水被害有り プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	A AA A	
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等) 困難	A C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
			計画見直し中 大規模事業	C C	



河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川堀留川
- 地先名 : 浜松市西区入野町地先
- 全体計画延長 : L=200m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 50,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間) 下流が小	A B	
		構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A	
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	
		今後の流出増見込み (流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
	事業の緊急性	浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA	AA
			床下浸水有り	AA	
水系に浸水被害有り		A			
	他事業関連	プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト縮減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	AA
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	A
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中	C				
	大規模事業	C			

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 豪雨等災害対策緊急事業
- 河川・海岸名 : 二級河川馬込川
- 地先名 : 浜松市浜北区小松地先
- 全体計画延長 : L=80m
- 実施内容 : 護岸工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 60,000千円

○改修（整備）目的と方法

<p>(目的) 護岸改修による治水安全度の向上</p> <p>(方法) 経年劣化した既設護岸を改修する。</p>
--

○評価

評価の視点	評価項目	評価指標		評価基準	評価
		細目	区分		
妥当性	事業の必要性	現況流下能力	1/5未満	A	A
		上下流バランス	上下流が大(ネック区間)	A	
			下流が小	B	
	構造的危険度	カミソリ堤、漏水等	A		
	事業の重要性	水防計画書	位置付け有り	A	A
		氾濫区域内の資産	5割以上が宅地(築堤)	AA	AA
			5割以上が宅地(掘込)	A	
		災害弱者施設	沿川(概ね100m以内)に災害弱者施設有	A	A
	事業の緊急性	今後の流出増見込み(流域の開発計画の有無)	開発面積 5ha以上	A	
			浸水実績(過去10年)	床上浸水有り	AAA
床上浸水有り				AA	
他事業関連		水系に浸水被害有り	A		
		プロジェクト関連(空港、第2東名等)、災害合併 その他(公園整備、道路、橋梁等) (5年以内)	AA A		
効果・効率性	事業の効率性	事業進捗	継続 継続完了	A AA	A
		改修費の妥当性	改修方法(工法) 改修規模(段階施工) コスト削減策		
実現妥当性	事業の熟度	河川整備計画	有	A	A
		協働	協働による計画策定	A	
		用地取得見込み	容易(取得済、買取請求、区画整理等で創出箇所等)	A	
			困難	C	
		地元熱意	改修促進期成同盟会、自治会等の間で合意形成済	A	A
		事業時期	他事業調整中	C	
計画見直し中 大規模事業	C C				

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川海岸環境整備事業
- 河川・海岸名 : 一級河川来光川
- 地先名 : 函南町上沢地先
- 全体計画延長 : L=60m
- 実施内容 : 堤防舗装工
- 改修規模 : -
  
- 全体事業費 : 5,000千円

○改修（整備）目的と方法

（目的）景観の向上、親水性の増進

（方法）堤防舗装を進めることで親水性のある空間を創出する

○採択条件

- ① 周辺に住宅地・学校等があり、整備しようとする施設の利用率が高いと認められる箇所
- ② 面的整備を実施できるだけの高水敷または河川に近接して地元市町村等による公園・及び公園計画があり、それらの施設と一体的に整備することによって、ある程度面的な施設配置が可能で、より効果的な整備が期待できる箇所
- ③ 河川整備計画等に位置づけられた箇所
- ④ リバーフレンドシップ制度等に基づき、県民との協働による河川管理を行っている箇所などにおいて、整備しようとする施設の利用率が高いと認められ、地域の美化活動に対して支援することとなるもの。
- ⑤ その他の特殊要因

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川海岸環境整備事業
- 河川・海岸名 : 一級河川梅の木沢川
- 地先名 : 長泉町南一色地先
- 全体計画延長 : L=160m
- 実施内容 : 遊歩道整備工
- 改修規模 : -

- 全体事業費 : 8,000千円

○改修（整備）目的と方法

（目的）景観の向上、親水性の増進

（方法）遊歩道整備を進めることで親水性のある空間を創出する

○採択条件

- ① 周辺に住宅地・学校等があり、整備しようとする施設の利用率が高いと認められる箇所
- ② 面的整備を実施できるだけの高水敷または河川に近接して地元市町村等による公園・及び公園計画があり、それらの施設と一体的に整備することによって、ある程度面的な施設配置が可能で、より効果的な整備が期待できる箇所
- ③ 河川整備計画等に位置づけられた箇所
- ④ リバーフレンドシップ制度等に基づき、県民との協働による河川管理を行っている箇所などにおいて、整備しようとする施設の利用率が高いと認められ、地域の美化活動に対して支援することとなるもの。
- ⑤ その他の特殊要因

河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 河川海岸環境整備事業
- 河川・海岸名 : 二級河川内瀬戸谷川
- 地先名 : 藤枝市南新屋地先
- 全体計画延長 : L=500m
- 実施内容 : 遊歩道整備工
- 改修規模 : -

- 全体事業費 : 25,000千円

○改修（整備）目的と方法

（目的）景観の向上、親水性の増進

（方法）遊歩道整備を進めることで親水性のある空間を創出する

○採択条件

- ① 周辺に住宅地・学校等があり、整備しようとする施設の利用率が高いと認められる箇所
- ② 面的整備を実施できるだけの高水敷または河川に近接して地元市町村等による公園・及び公園計画があり、それらの施設と一体的に整備することによって、ある程度面的な施設配置が可能で、より効果的な整備が期待できる箇所
- ③ 河川整備計画等に位置づけられた箇所
- ④ リバーフレンドシップ制度等に基づき、県民との協働による河川管理を行っている箇所などにおいて、整備しようとする施設の利用率が高いと認められ、地域の美化活動に対して支援することとなるもの。
- ⑤ その他の特殊要因

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 海岸改良事業  
 ○河川・海岸名 : 清水海岸  
 ○地先名 : 静岡市清水区三保地先  
 ○全体計画延長 : L=200m  
 ○実施内容 : 測量・設計、地質調査  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 10,000 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）緩傾斜堤の防護機能を回復させる。  
 （方法）崩れたブロックを復旧する。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	-	1
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	A	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	-	2
		住宅有り （ " ）	A	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
	事業の緊急性	越波被害有り（過去5年） 連携する他事業有り	AA	3
A				
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	A	1
		生態系に配慮した工法	-	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	A	1
		協働による事業実施	-	
	計			8

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 海岸改良事業  
 ○河川・海岸名 : 静岡海岸  
 ○地先名 : 静岡市駿河区下島地先  
 ○全体計画延長 : -  
 ○実施内容 : 根固工  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 15,500 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）海岸堤防の強靱化を図る。  
 （方法）消波ブロックを堤防前面に設置する。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	-	0
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	-	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	AA	3
		住宅有り （ " ）	-	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
	事業の緊急性	越波被害有り（過去5年） 連携する他事業有り	-	1
A				
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	A	2
		生態系に配慮した工法	A	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	-	1
		協働による事業実施	A	
	計			7

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 海岸改良事業  
 ○河川・海岸名 : 清水海岸  
 ○地先名 : 静岡市清水区三保地先  
 ○全体計画延長 : -  
 ○実施内容 : 海岸保全対策検討業務  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 10,000 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）砂浜の動きを把握する。  
 （方法）サンドボディの実態解析を行う。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	-	1
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	A	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	AA	3
		住宅有り （ " ）	-	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
事業の緊急性	越波被害有り（過去5年） 連携する他事業有り	-	0	
		-		
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	-	0
		生態系に配慮した工法	-	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	A	1
		協働による事業実施	-	
	計			5



## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 海岸改良事業  
 ○河川・海岸名 : 竜洋海岸  
 ○地先名 : 磐田市駒場地先  
 ○全体計画延長 : -  
 ○実施内容 : 現場監理業務委託  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 6,000 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）防潮堤工事を滞りなく進める。  
 （方法）現場監理業務を委託し、欠陥の発生を未然に防ぐ。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	AA	2
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	-	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	-	2
		住宅有り （ " " ）	A	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
	事業の緊急性	越波被害有り（過去5年） 連携する他事業有り	-	1
A				
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	A	2
		生態系に配慮した工法	A	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	-	0
		協働による事業実施	-	
	計			7

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 海岸改良事業  
 ○河川・海岸名 : 浜松五島海岸  
 ○地先名 : 浜松市南区松島町地先  
 ○全体計画延長 : L=約 1,250m  
 ○実施内容 : 築堤盛土検討業務  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 10,000 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）土堤区間の堤防を強化する。

（方法）築堤への盛土を実施することについて検討する。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	AA	2
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	-	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	-	1
		住宅有り （ " ）	-	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
事業の緊急性	越波被害有り（過去5年）	-	0	
	連携する他事業有り	-		
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	-	1
		生態系に配慮した工法	A	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	-	1
		協働による事業実施	A	
	計			5

## 河川・海岸事業 新規事業実施箇所 概要書

- 事業名 : 緊急自然災害対策事業  
 ○河川・海岸名 : 蒲原海岸  
 ○地先名 : 静岡市清水区蒲原堰沢地先  
 ○全体計画延長 : L=153m  
 ○実施内容 : 堤防嵩上工、測量・設計、地質調査  
 ○改修規模 : -  
 ○全体事業費 : 95,000 千円

## ○改修（整備）目的と方法

（目的）越波性能を満足していない堤防高さを解消する。  
 （方法）堤防嵩上工を実施する。

## ○評価

評価の視点	評価項目	評価内容	評価	Aの数
妥当性	事業の必要性	堤防高不足または侵食傾向（5年間 25m 以上）	AA	2
		侵食傾向（5年間 25m 未満）	-	
	事業の重要性	D I D地区（保全区域から 200m以内）	AA	4
		住宅有り （ " ）	A	
		公共施設、重要施設、基幹交通等有り	A	
	事業の緊急性	越波被害有り（過去5年） 連携する他事業有り	-	0
-				
効果・効率性	事業の効率性	配慮有り	-	0
		生態系に配慮した工法	-	
		継続	-	
		継続完了	-	
実現妥当性	事業の熟度	海岸保全基本計画に位置付け有り	A	1
		協働による事業実施	-	
	計			7